

東洋紡企業年金基金の紹介 第1回

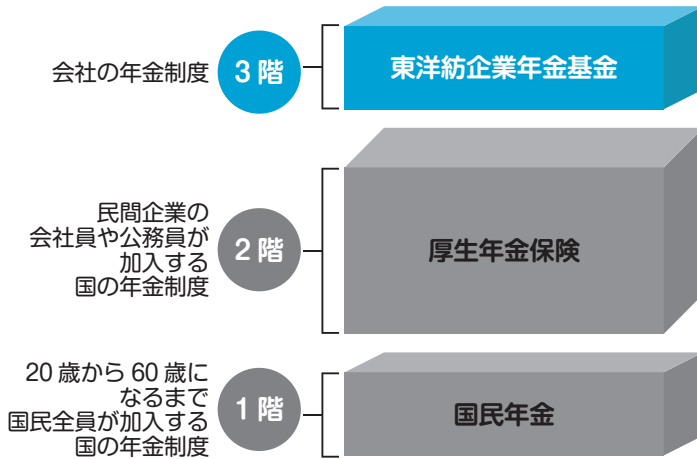
企業年金基金のしくみ

東洋紡には、企業年金基金制度があります。

加入者の皆さんに制度を知っていただくために、1年間かけて、わかりやすくご紹介していきます。

◆企業年金基金とは？

■東洋紡で働く社員が加入する年金制度



皆さんは企業年金にも加入しています

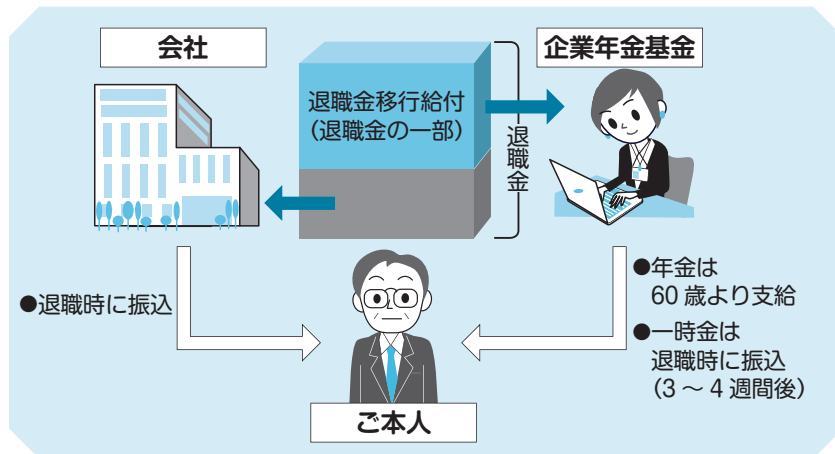
東洋紡で働く私たちは、国の2つの年金制度と会社の企業年金制度に加入しているため、加入する年金制度は3階建てになります。国の年金制度は、国民全員が加入する「国民年金」と、民間企業に勤める会社員や公務員が加入する「厚生年金保険」の2階建てです。会社の企業年金の制度は、社員のより安定したセカンドライフを目的として設立された「東洋紡企業年金基金」です。

【企業年金のメリット】

老後の生活保障になります。標準的な夫婦世帯の生活費が25万円といわれるなか、国の年金は、厚労省のモデル世帯平均22万円。将来に備え自助努力が必要です。



◆退職金の一部を企業年金基金に預けて年金化することができます

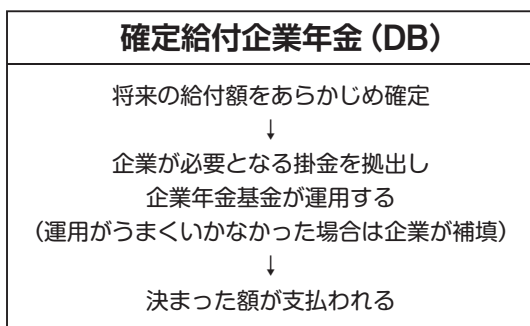


会社退職金の一部が企業年金の元手となる資金です。退職金の一部を年金化するか、退職一時金として受け取るかは、ご本人の選択になります。

- 年金化** 企業年金として60歳から受給
- 退職一時金** 一時金として退職時に精算



◆東洋紡の企業年金基金の制度は「確定給付企業年金(DB)」です



【DBのメリット】

将来の給付額(年金化できる退職金の額)が確定していることが大きなメリットです。

企業年金基金はTCDC*とは別の制度なんだ!

* TCDC = 東洋紡の賞与を元手資金とし、任意で加入する個人型確定拠出年金(個人型DC)です。

